

## 安全データシート

作成日：2023/5/17

改定日：2023/5/17

バージョン：1

## 1 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ビニライン 白  
供給者の会社名称 : 日亜ペイント株式会社  
担当部門 : 技術部  
住所 : 大阪府交野市幾野5-6-12

電話番号 : 072-892-6101  
緊急連絡電話番号 : 072-892-6101  
ファクシミリ番号 : 072-892-6105  
作成日 : 2023/5/17

**推奨用途及び使用上の制限**  
用途セクター[SU] : 工業使用  
推奨用途 : コーティング剤および塗料、充填剤、接合剤、希釈剤  
使用上の制限 : データなし

## 2 危険有害性の要約

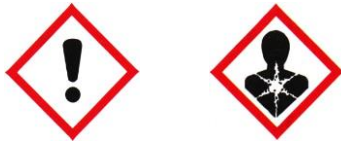
## GHS分類：

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分2A  
発がん性:区分1A  
特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分3(気道刺激性)  
特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分1(呼吸器系 免疫系 腎臓)  
特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分2(腎臓 肝臓)

注：急性毒性経口の不明成分は23%。急性毒性経皮の不明成分は38%。急性毒性吸入(気体)の不明成分は23%。急性毒性吸入(蒸気)の不明成分は25%。急性毒性吸入(粉塵/ミスト)の不明成分は63%。水生環境有害性急性毒性の不明成分は95%。水生環境有害性慢性毒性の不明成分は95%。

## GHSラベル要素：

絵表示



注意喚起語： 危険

## 危険有害性情報：

- ・ 強い眼刺激。
- ・ 呼吸器への刺激のおそれ。
- ・ 発がんのおそれ。
- ・ 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器系 免疫系 腎臓)。
- ・ 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(腎臓 肝臓)。

注意書き：

## 【安全対策】

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- ・取り扱い後は手をよく洗うこと。
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・屋外または換気の良い場所でだけ使用すること。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

## 【応急措置】

- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
- ・気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ・気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- ・眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

## 【保管】

- ・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- ・施錠して保管すること。

## 【廃棄】

- ・内容物/容器を(国際、国、都道府県、市町村の規則に従って) 廃棄すること。

他の危険有害性：

### 3 組成及び成分情報

混合物

成分名	濃度 %	CAS No.	PRTR種類	労働安全衛生法-通知義務	毒物及び劇物取締法	化審法整理番号	化審法対象物質
テキサノール	0～5%	25265-77-4					
可塑剤	0～5%						
アクリル樹脂	5～10%						
石油系炭化水素	0～5%						
スチレンアクリル酸樹脂	10～15%						
アクリル酸ソーダ	0～5%	52255-49-9					
水	30～35%	7732-18-5					
ジエチレングリコール	0～5%	111-46-6					
二酸化ケイ素	24.00%	7631-86-9		●			
C. I. Pigment White6	15.00%	13463-67-7		●			

濃度限界未満だがSDS作成濃度以上の成分：

## 4 応急措置

### 応急措置の描写

#### 全般的な注意事項 :

疑わしい場合や症状が現れている場合は、医師に相談すること。

#### 吸入した場合 :

被災者を空気の新鮮な場所に移し、暖めて安静にさせること。呼吸困難または呼吸停止のときは、人工呼吸を開始すること。蒸気を吸い込んだ場合、中毒症状は数時間後に初めて現れることがあるので、必ず医者にかかること。

#### 皮膚に付着した場合

直ちに以下のもので洗浄すること:

水とせっけん

熱い溶解物に触れた際には、(次のもの)で皮膚を手当てすること:

非該当

使用してはならない洗浄液:

データなし

#### 眼に入った場合:

眼の刺激があれば眼科医にかかること。直ちに洗眼用シャワーまたは水で、注意深く念入りに洗い流すこと。

#### 飲み込んだ場合:

直ちに医師の診断/手当てを受けること。被災者の意識があるときは、吐かせること。

飲み込んだ場合、直ちに(以下のものを)飲ませること:

データなし

#### 応急措置をする者の保護に必要な注意事項:

応急処置: 自己防護に留意すること。

### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

#### 症状

以下の症状が表われ得る:

頭痛 腹痛 めまい 吐き気

#### 影響:

意識不明状態

#### 医師に対する特別な注意事項:

症状に応じて処置すること。

#### 特別な治療:

データなし

## 5 火災時の措置

### 消火剤

#### 適切な消火剤:

アルコール耐性の泡 二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 乾燥した砂

#### 使ってはならない消火剤:

棒状注水

### 火災時の特有な危険有害性

#### 危険有害な燃焼生成物:

二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 一酸化炭素

### 消火作業員へのアドバイス

#### 消火作業員の保護具:

自給式呼吸器具及び化学防護服を着用すること。

#### その他のデータ:

汚染された消火用水は、分別して回収すること。排水管や自然水系に流入させないこと。安全に実行可能であれば、破損していない容器を危険区域から遠ざけること。閉鎖空間で二酸化炭素を使用する場合は注意すること。二酸化炭素は酸素を置換し得る。

## 6 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

人体に対する注意事項：

個人用の保護具を使用すること。

保護具：

適切な呼吸保護具を用いること。

緊急時の措置：

すべての発火源を除去すること。十分に換気をする。人々を安全な場所に避難させること。

### 環境に対する注意事項：

下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。より広い面積への広がりを防ぐこと（例えば、堰き止めるあるいはオイルを遮断する）。ガス漏れ、あるいは自然の水系、土壌、下水道に漏洩する際には、担当当局に連絡すること。

### 封じ込め及び浄化の方法・機材

#### 封じ込めに関して

取り除くために適した材質：

砂 珪藻土

#### 浄化にあたって

希釈あるいは中和のために適した材料：

データなし

#### 他の項を参照：

安全取扱い：参照箇所 第7項 廃棄物処理：参照箇所 第13項 個人用保護具：参照箇所 第8項

## 7 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 防護措置

安全な取扱いの為のアドバイス

忌避事項：

蒸気またはミスト/エアゾールの吸入 皮膚接触 目との接触

取り扱い時に充填するガス：

非該当

取り扱い時に充填する液体：

非該当

注意事項：

容器は、注意深く開いて取り扱うこと。換気のよい場所でのみ、使用すること。その材料は、むき出しの光源、炎、およびその他の発火源から離れた場所に限り用いること。人身用防護装備を身に付けること（第8章を参照）。製品を取り出した後は、必ず容器を密閉すること。

#### 火災防止のための措置

湿潤状態を保持するための物質：

非該当

混合禁止物質：

酸化剤

隔離すべき物質：

可燃性物質 酸化剤

**注意事項：**

静電気対策を講じること。発火源から遠ざけておくこと - 禁煙。熱源（例えば、高温の表面）、火花や裸火から遠ざけておくこと。慎重に取り扱うこと - 衝撃、摩擦、打撃を回避すること。蒸気は、空気とともに爆発性の混合物を形成する可能性がある。爆発の危険があるため、その蒸気の地下室、煙道、下水への流入を防ぐこと。製品は熱くなると、可燃性の蒸気を発生する。

エアゾールおよび粉塵生成を回避するための対策

充填、計量、サンプリング時に使用すべき装置：

データなし

以下のタイプの局所換気を用いること：

データなし

環境に対する注意事項：

マンホールや下水道は、製品が流入するのを防ぐこと。

特定の要求あるいは取り扱い規則：

製品を吸収したぞうきんを、ズボンのポケットの中に携行しないこと。

**一般的な労働衛生上の注意事項：**

皮膚、眼、衣服との接触を避けること。汚れが付着し、濡れた衣服は、脱衣すること。濡れた衣服は、再使用する前に、洗わなければならない。製品の取り扱い後、直ちに念入りに皮膚を洗浄すること。

**保管****包装材料**

容器または設備向けに適切な材料：

溶媒耐性のある材料

容器または設備向けには、不適切な材料：

データなし

**共同貯蔵に関する注意事項**

保管分類：

その他、潜在的な爆発性有害物質

混触禁止物質：

可燃性物質 酸化剤

**保管条件に関するその他情報：**

加熱すると、圧力上昇し破裂する危険がある。容器は破損から守ること。容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。

**8 ばく露防止及び保護措置****管理パラメーター**

**ばく露限界値：**

成分	CAS NO.	国	許容濃度		最大許容濃度		管理濃度	
			mg/m3	ppm	mg/m3	ppm	mg/m3	ppm
C. I. Pigment White 6	13463-67-7	JP	0.3					

**生物学的限界値：**

成分	CAS NO.	国	単位	限界値	パラメータ
データなし					

**ばく露制御****設備対策**

最初に：取扱い設備は防爆型を使用すること。

物質/混合物の使用におけるばく露防止の関連対策：

屋内使用の場合、装置を密閉化し、局所排気装置又は全体排気装置を設置する。

取扱いの作業場には、洗眼器と安全シャワーを設置する。

ばく露を防ぐための技術的な対策：

空気中の濃度を職業ばく露限界以下に保つため、局所排気と全体換気を行う。

**個人用保護具**

眼の保護具

適切な眼の保護：  
保護眼鏡 ゴーグル  
注意事項：

手の保護具  
適切な手袋の種類：  
指切手袋  
適した材料：  
ブチルゴム

要求される特性：  
耐溶剤性  
注意事項：  
前述した保護手袋を特別な用途に使用する場合、手袋の製造者に、化学物質耐性について確認することが望ましい。

皮膚及び身体の保護具  
適切な保護具：  
化学物質耐性の安全靴 保護前掛け

要求される特性：  
耐溶剤性

推奨される材料：  
データなし

呼吸用保護具  
呼吸用保護具が必要なケース：  
暴露限界値の超過。 不十分な換気。 長期にわたる暴露。

経験的に呼吸用保護具が必要な作業：  
データなし

適切な呼吸用保護具：  
ABEK-P3 ABEK-P2

注意事項：  
技術的な吸引または換気対策が、不可能もしくは不十分ならば、呼吸保護具を着用しなければならない。呼吸保護具は、製品を取り扱うとき、発生する可能性がある有害物質の最大濃度（ガス、蒸気、エアロゾル、粒子）に見合う等級のフィルターを使用すること。この濃度を上回る場合は、自給式呼吸保護具を利用すること。使用前に、漏れ/透過がないかどうかを点検すること。

### 環境ばく露管理

ばく露を防ぐための技術的な対策  
排気ガス洗浄に用いるフィルターのタイプ：  
データなし

排ガス洗浄に用いる再生・削減技術：  
データなし

排水に適用する化学処理方法：  
中央生物学的排水処理 下水汚泥処理、例えば熱的汚泥減量 吸着

## 9 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	データなし
臭い	データなし
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	100.00℃～100.00℃
可燃性	データなし
爆発下限界・爆発上限界/可燃限界	2338Pa
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし

---

pH	7
動粘性率	データなし
溶解度	水溶性
n-オクタノール/水分配係数(log値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	1.21±0.1
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

---

## 10 安定性及び反応性

反応性：

熱に不安定。

安定性：

この混合物は、推奨される保存条件、使用条件、温度条件の下では化学的に安定である。

危険有害反応可能性

溶解した場合：

データなし

気化した場合：

容器破裂の危険

凍結した場合：

データなし

避けるべき条件

乾燥状態：

データなし

隔離された状態：

データなし

微細分散/噴霧/ミストの状態：

爆発危険性

暖めた場合：

爆発危険性 容器破裂の危険

光が影響する場合：

データなし

衝撃や圧力の影響を受けた場合：

爆発危険性 容器破裂の危険

空気流入の場合：

データなし

貯蔵時間を超えた場合：

データなし

貯蔵温度を超えた場合：

容器破裂の危険

混触危険物質

避けるべき物質：

強酸化剤 酸化剤

危険有害な分解生成物：

熱分解により、刺激性の気体や蒸気が放出する可能性がある。

追加情報：

非該当

---

## 11 有害性情報

毒性学的影響に対する情報：

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性  
二酸化ケイ素(区分2A) / テキサノール(区分2B)  
発がん性  
C. I. PigmentWhite6(区分2) / 二酸化ケイ素(区分1A)  
生殖毒性  
ジエチレングリコール(区分2)  
特定標的臓器毒性(単回ばく露)  
二酸化ケイ素(区分3(気道刺激性))  
特定標的臓器毒性(反復ばく露)  
C. I. PigmentWhite6(区分1) / 二酸化ケイ素(区分1) / ジエチレングリコール(区分1)

#### 物理的、化学的及び毒性学的特性に関する症状

経口摂取の場合：

データなし

皮膚接触の場合：

皮膚の脱脂作用がある。

吸入した場合：

吸入すると、吐き気、めまい、腹痛、頭痛などを引き起こす可能性がある。

追加情報：

適切な呼吸保護具を使用すること。 保護衣服。 ゴム手袋。

## 12 環境影響情報

生態毒性：

111-46-6、ジエチレングリコール：

藻類：Scenedesmus quadricauda(セネデスマス)EC50(mg/L)2,700(7-d)：増殖阻害，甲殻類：Daphnia magna(オオミジンコ)EC50(mg/L)>10,000(24-h)：遊泳阻害，

魚類：Carassius auratus(キンギョ)LC50(mg/L)>5,000(24-h) Gambusia affinis(カダヤシ)LC50(mg/L)>32,000(96-h) Pimephales promelas(フアッドヘッドミノー)LC50(mg/L)75,200(96-h)

残留性・分解性：

111-46-6、ジエチレングリコール：

好氣的：良分解 BOD から算出した分解度82～98%

嫌氣的：嫌気汚泥により、メタン発酵条件下、1日 で97%分解されたとの報告がある。

非生物的：OH ラジカルとの反応性；

対流圏大気中では、速度定数 =  $2.09 \times 10^{-11}$  cm<sup>3</sup>/分子・sec で、OH ラジカル濃度を  $5 \times 10^5 \sim 1 \times 10^6$  分子/cm<sup>3</sup> とした時の半減期は9～17 時間と計算される。

生体蓄積性：

111-46-6、ジエチレングリコール：報告なし。

土壌中の移動性：

データなし

オゾン層への有害性：

111-46-6、ジエチレングリコール：該当せず

追加環境毒性学情報：



製品は、前処理（生物学的下水処理場）なしに、自然水系に流さないほうがよい。地域の排水規定を守ること。この混合物のデータはない。

### 13 廃棄上の注意

#### 廃棄物処理方法

##### 製品/包装材料の廃棄

危険有害性をもたらす廃棄物の特性：

生殖毒性 刺激性 可燃性 生態毒性

廃棄物処理方法のオプション

適切な廃棄方法/残余廃棄物：

廃棄物は該当法規に従って廃棄すること。

適切な廃棄処理/汚染容器と包装：

汚染された包装容器は、中身を完全に空にしなければならず、適切な洗浄後、再利用することができる。洗浄できない包装容器は、廃棄物として処理しなければならない。

注意事項：

認可を受けた廃棄物処理業者に引き渡すこと。当局の規定に従って処分すること。

### 14 輸送上の注意

#### 国連番号

陸上輸送 (ADR/RID)	非該当
内陸水運 (ADN)	非該当
海上輸送 (IMDG)	非該当
航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR)	非該当

#### 国連輸送名

陸上輸送 (ADR/RID)	非該当
内陸水運 (ADN)	非該当
海上輸送 (IMDG)	非該当
航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR)	非該当

#### 国連分類

陸上輸送 (ADR/RID)	非該当
内陸水運 (ADN)	非該当
海上輸送 (IMDG)	非該当
航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR)	非該当

#### 容器等級

陸上輸送 (ADR/RID)	非該当
内陸水運 (ADN)	非該当
海上輸送 (IMDG)	非該当
航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR)	非該当

#### 環境に対する有害性

陸上輸送 (ADR/RID)	データなし
内陸水運 (ADN)	データなし
海上輸送 (IMDG)	データなし
航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR)	データなし

#### MARPOL 条約73/78附属書II及びIBC

コードによるばら積み輸送 非該当

海洋汚染物質 非該当

#### 国内規則がある場合の規制情報

陸上輸送： 消防法、毒物及び劇物取締法、高圧ガス保安法に従う。

海上輸送： 船舶安全法、港則法に従う。

航空輸送： 航空法に従う。

## 15 適用法令

### 毒物及び劇物取締法：

本製品は毒物及び劇物取締法の毒物及び劇物には該当していない。

### 労働安全衛生法第五十七条 表示物質：

C. I. Pigment White 6; 二酸化ケイ素;

### 労働安全衛生法第五十七条の二 通知物質：

C. I. Pigment White 6; 二酸化ケイ素;

### 労働安全衛生法第五十七条 表示物質(令和6年以降施行分)：

テキサノール(2026/04/01施行); ジエチレングリコール(2025/04/01施行);

### 労働安全衛生法第五十七条の二 通知物質(令和6年以降施行分)：

テキサノール(2026/04/01施行); ジエチレングリコール(2025/04/01施行);

### 労働安全衛生法 特定化学物質障害予防規則：

該当せず

### 労働安全衛生法 有機溶剤中毒予防規則：

該当せず

### 労働安全衛生法 がん原生に係る指針対象物質：

7631-86-9、シリカ(結晶質、非晶質を包含した二酸化ケイ素)、1A、2023-04-01施行

;

### 労働安全衛生法 強い変異原性が認められた化学物質：

該当せず

### 労働安全衛生法 鉛・四アルキル鉛中毒予防規則：

該当せず

### 化学物質管理促進法 (PRTR)：

該当せず

### 消防法：

該当せず

### 化審法：

該当せず

### 水質汚濁防止法：

該当せず

### 土壌汚染対策法：

該当せず

### 大気汚染防止法：

該当せず

### 特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律：

該当せず

### 危険物船舶運送及び貯蔵規則：

該当せず

### 航空法施行規則：

該当せず

## 16 その他の情報

### 参考文献：

JIS Z 7253-2019\_GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル・作業場内の表示及び安全データシート (SDS)、 JIS Z 7252-2019\_GHSに基づく化学物質等の分類方法、 Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals(GHS) 6th revised edition by UNITED NATIONS、 緊急時応急措置指針「ERG 2016版」容器イエローカードへの適用、 経済産業省発行事業者向けGHS分類ガイダンス平成25年7月、 独立行政法人製品評価技術基盤機構監修のGHS分類物質一覧、 一般財団法人化学物質評価研究機構 (CERI)公開の化学物質ハザードデータ集。

### 責任の限定について：

本記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、法令の改正や新しい知見により改訂されることがあります。本製品を扱う場合は記載内容を参考にして、使用者の責任において実態に即した安全対策を講じてください。尚、本製品安全データシートは安全や品質の保証書ではありません。